

# 学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 4 教科・領域 社会 単元・題材等 古い道具と昔の暮らし

単元・題材等の目標 昔と今の道具の違いを通して、昔と今とは人々の暮らしの様子が変化してきていることを理解するとともに、現在の自分たちの歴史的背景に関心をもつ。古い道具の様子や使い方を具体的に調べ、昔の人々の知恵と工夫に気づき、当時の人々が生活の向上を願ってきたことを考える。

○活用できる学校外の人材と内容等

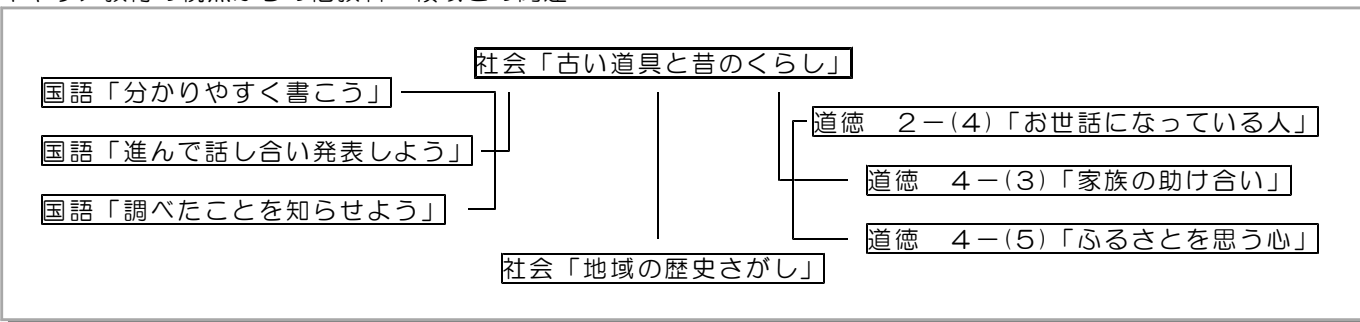
祖父母や地域のお年寄り、資料館等の人  
\*来校、または、見学に行き、古い道具と使い方、当時の暮らしの様子などについて話をしてもらったり、体験場面で古い道具の使い方を教えてもらったりする。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

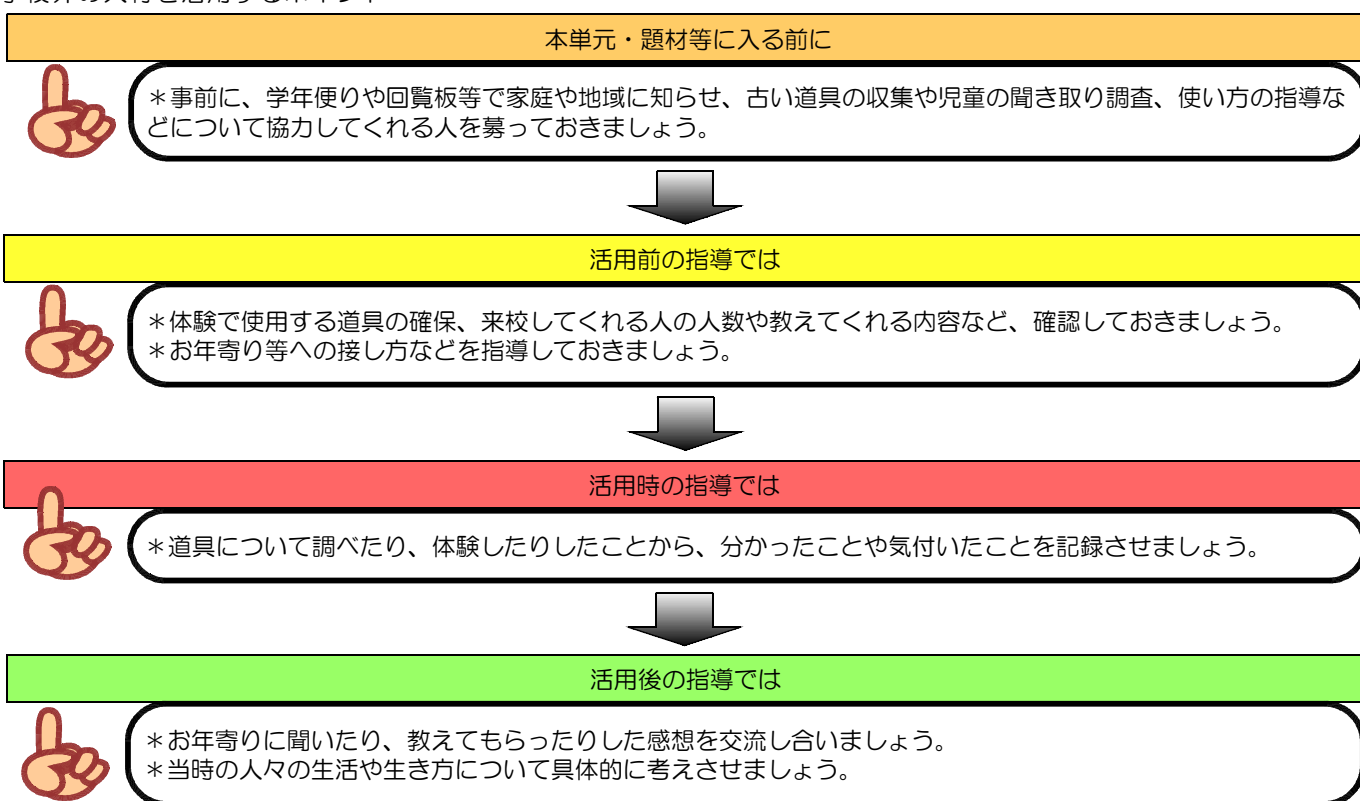
\*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・よりよい生活を願って工夫や努力をしてきた先人に感謝する。【**自他の理解能力**】
- ・詳しく知りたいこと、聞きたいことを、相手に分かりやすく質問する。【**コミュニケーション能力**】
- ・分からないことを図鑑で調べたり質問したりする。【**情報収集・探索能力**】
- ・古い道具を使う体験などを通して、働くことの楽しさや大切さ、苦勞が分かる。【**職業理解能力**】
- ・身近にある古い道具集めなどから、古い道具や昔の暮らしについて調べる計画を立てる。【**計画実行能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

①古い道具や昔の暮らしに関心をもとう  
◆写真などを見て、古い道具を使っていた頃の暮らしに関心を持ち、学習問題をつかむ。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>●昔の道具の絵や写真を見て、何をするための道具か、使い方などを考える。</li> <li>●身近にある古い道具を集めてみる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習の計画を立て、次時の学習について知る。【<b>計画実行能力</b>】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見たことがあるもの、形状などから、話し合いを行い、昔の道具についての関心を高めさせる。</li> <li>○自分の家や知人の家で見つけた道具について話題にすることで、古そうな道具を集めようとする意識をもたせる。</li> <li>○学校の資料室等にあるものについても集めておく。</li> <li>○聞き取り調査の留意点、来校してくれる人への接し方などについて指導しておく。</li> </ul>

評価の観点 ・昔の道具の絵や写真などから、何をするための道具か、使い方などを考えることができる。

活用時の指導

②古い道具を調べよう、古い道具を体験してみよう  
◆古い道具にはどんなものがあるか、どんなことに使ったのか、本で調べたり、お年寄りに聞いたり、郷土資料館等で調べたり、体験したりする。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>●昔の道具について本や聞き取り等をして調べる。</li> <li>●昔の道具を使ってみる。</li> </ul> <p>【<b>自他の理解能力</b>】 【<b>コミュニケーション能力</b>】 【<b>情報収集・探索能力</b>】 【<b>職業理解能力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お礼を述べ、あいさつをする。【<b>自他の理解能力</b>】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カードを作り、図書室の本や図鑑等で調べさせる。</li> <li>○どんなことに使うか、どのように使うかなどの観点から聞き取り調査を行うようにさせる。</li> <li>○体験については、祖父母や地域のお年寄り等を招き、使い方を教えてもらうようにする。</li> <li>○調査や体験とともに、道具の使い方の工夫や当時の暮らしの様子などについても話してもらったり、聞いたりする。</li> <li>○教えてくれた人に感謝の気持ちやお礼を言うようにさせる。</li> </ul>

評価の観点 ・昔の道具について調べることができる。  
・昔の道具について調べたり、使ったりして、気付いたことや考えたことを記録することができる。

活用後の指導

③古い道具と暮らしについてまとめよう  
◆調べたことをもとに年表を作ったり、カードで道具の博物館を作ったりしてまとめる。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>●道具調べの発表を行い、道具の移り変わりについてまとめる。</li> <li>●暮らしの様子と生活の移り変わりについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べた内容の発表とともに、聞き取り調査したこと自体の感想や古い道具の使い方を教えてもらった感想も発表させる。</li> <li>○カードに書いたり、年表にしたりしてまとめさせる。</li> <li>○道具調べの結果をもとに、昔の人の知恵や工夫、生活のしかたや移り変わりなどについて考え、気付いていけるようにさせる。</li> </ul>

評価の観点 ・道具調べをした内容についてまとめることができる。  
・暮らしの様子や生活の変化について考えることができる。